

〈要旨〉

この研究は、自分がアルバイトを通して子供たちと関わる機会が多くなり、これからも子供たちと関わっていく中で少しでも自分の研究が子供たちのためにならないかということを考え、始めたものである。東日本大震災などの大災害の発生そのものを防ぐことは不可能である。しかし、発生後の対応や発生する前の対策で多くの命を守ることができると危機管理学部の4年間を通して学んできた。そのことを卒業研究として子供たちの命に焦点を当てて研究を進めた。実際に東日本大震災で成功例として挙げることができる「釜石の奇跡」を踏まえて日ごろからどんな準備をしていけばよいかということや、現在の千葉県内の防災教育の現状についてなどについて述べていき、最終的に筆者の出身校に対しどのような防災教育を行えばこの地域の子供たちの命を守れるかということを提案していく。